



蓮通信

The Lotus News

2006年2月10日 発行 No.28 通巻61号

蓮文化研究会 The Lotus Japan

事務局 三浦功大

〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-9-23
ラボン・ファミユ 207

電話 & FAX 03-5995-2052

URL : //www.estyle.ne.jp/lotus/

E-mail : lotus:@estyle/ne/jp

寒中お見舞い申し上げます。

本年もよろしくお見舞い申し上げます。いつも会運営にご協力いただき、ありがとうございます。蓮通信28号をお届けします。1月29日第八回定時総会は無事終了しました。「ご参加いただきました会員の皆様方へ苦労様でした。」

第八回定時総会開催

蓮文化研究会第八回定時総会は、豊島区立勤労福祉会館で、1月29日(日)午後1時30分より、25名の出席と、51名の委任状により開会、提出議案は満場一致で承認され、4時30分終了しました。富山の三鍋さん、岩手の阿部さん、福島の多田さん遠路よりご出席ありがとうございました。議事進行と今年の事業計画は以下の通りです。二〇〇五年の収支決算・監査報告、事業報告、予算案は同封別紙の通りです。

開会宣言 三浦功大 事務局長

議長選出 伊藤俊久氏

会長挨拶 南 定雄 会長

議事進行 2005年事業報告

2005年会計報告・会計監査報告

2006年事業計画提出

2006年予算案提出

閉会宣言 議長

歓談・情報交換会 総会終了後は、自己紹介に移り、出席の皆さんより、蓮の花に出会った感動的な思い出、蓮の花に思い入れの心境、今後の抱負などを熱く語っていただきました。続いて、抽選大会に移りました。賞品は千島理事から提供のあった、中国・景德鎮、紫砂の蓮文様の湯飲み、急須、国産の蓮根酒。三浦・池上理事提供の蓮文様の絵がきセット、中国の蓮デザインのコインなど、出席者全員に漏れなく一点当たりしました。

懇親会

池袋駅近くの居酒屋に場所を移し、16名参加で親交と蓮縁の絆を深める酒宴となりました。三鍋阿部、多田会員も同席され、蓮文化発展の為に様々な意見交換がなされました。

二〇〇六年の事業計画

1月29日(日) 第八回定時総会

2月初旬 蓮通信28号、『蓮文化だより10号』発送

2月24日(金) 第30回例会。岩波ホールにて、折口信夫著『死者の書』(中将姫物語の藕絲をモチーフにした)人形アニメーション映画観賞会。6時50分より上映です。

6時30分ホール前集合。券は各自でご購入下さい。自由席定員制。前売券千五百円(当日千八百円) 前売券は岩波ホール、チケットぴあで発売中。詳細は同封パンフレット参照。当日観賞の方は事務局まで御一報下さい。

4月9日(日) 第31回例会「蓮根植替え実習および蓮根分根」東京大学緑地植物実験所 蓮通信29号発行

5月中旬 蓮通信29号発行

6月11日(日) 第32回例会・情報交換会

6月中旬 蓮通信30号発行

6月17日(日) 第二十回中国荷花展参加

7月中旬 第33回例会 東京大学緑地植物実験所 行田古代蓮の里

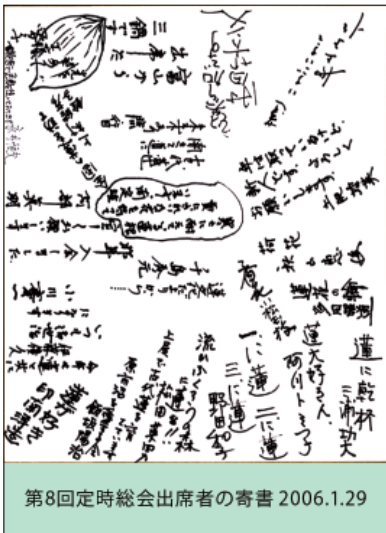
9月中旬 蓮通信31号発行

9月30日 『会報蓮文化だより11号』原稿締切り

10月中旬 第34回例会・情報交換会

11月下旬 蓮通信32号発行

平成19年 1月下旬 第九回総会(役員改選) 『会報蓮文化だより11号』発行予定



第8回定時総会出席者の寄書 2006.1.29

蓮根植替え実習及び蓮根分根のお知らせ

日時 平成18年4月9日(日) 午前10時~14時

場所 東京大学緑地植物実験所

住所 千葉市花見川区畑町1051

問合せ 事務局・当日電話090-3596-2822 (三浦)

講師 南 定雄 会長

参加費 会員 二千円(肥料代及び蓮根代) 非会員 三千円(肥料代及び蓮根代)

集合所 ①東京大学緑地植物実験所

②JR総武線新検見川駅改札口

9時30~10時に新検見川駅に到着の方は送迎いたします。

宿泊 宿泊ご希望の方は、会場近くにある東大セミナー・ハウスをご用意いたします。

宿泊代 五千円(予定)

詳細は宿泊希望者に後日ご連絡いたします。

ご注意 ①雨天時でも決行します。

②昼食は各自でご用意下さい。付近にあるコンビニで調達することもできます。

事務局で、お茶の用意を致します。

締切り 準備の都合があります。参加希望の方は、3月31日までに事務局へご連絡下さい。

『蓮文化だより10号』発行

『蓮文化だより10号』をお届けします。今号には25名の会員より原稿をいただきました。中国荷花協会・王其超会長より、平成16年7月16日、内田顧問の蓮園を訪問し、再会したおりに詠まれた、感動的な、珠玉の漢詩が寄せられました。

会員各位には例年どおり、二部お送り致します。一部は手元にて、一部は蓮文化向上のために、花の好きな知人にお見せいただき、会員を増やしていただければと願っています。

ご高覧いただきご意見、感想などお寄せいただければ幸いです。追加ご希望の方は、一部五百円(送料別)にて頒布しています。蓮文化研究会の活動を宣伝してください。ご希望の方は事務局までご連絡をお待ちしております。

新会員紹介 (12月〜1月に入会された方)

福士よし子 千〇三六・八三六八

青森県弘前市和田町二

電話 0172・36

石橋 幸枝 千一七九・〇〇七三

東京都練馬区田柄二

電話 03・3939

竹村 芳夫 (蓮根栽培) 千四三二・八〇六一

静岡県浜松市入野町

電話 053・447

高橋里枝子 (画廊経営) 千三七一・〇〇三七

群馬県前橋市上小出町二

電話 027・235

千葉 義一 (龍興寺花蓮愛好保存会会長)

千九六九・六二六六

福島県大沼郡会津美里町字布才地

持田 澄江 千三六〇・〇〇二六

埼玉県熊谷市久下

電話 048・512

小林 琴江 千三六〇・〇〇〇四

埼玉県熊谷市上川上

電話 048・524

森田 恭子 千三五五・〇一五五

埼玉県比企郡吉見町北吉見

電話 0493・54

1月31日現在の会員数は171名です。

中国・第20回花蓮展とシンポジウムの参加者募集

次の『蓮通信』発行が、5月中旬の予定です。少々先のことですが、第20回中国花蓮展のお知らせをします。

今年の花蓮展のテーマは「和諧社会と花蓮」(和諧は「調和」「和合」などの意)。第一会場は、風光明媚な杭州・西湖の曲院風景。第二会場は、近年、花蓮に力を注いでいる広州・橋頭市。第三会場は、中国の解放改革で一番発展しているといわれる広州・深圳市の三方所で開催の予定です。詳細はまだ未定です。大まかな日程は次のとおりです。

6月17日(土) 東京↓上海↓杭州
6月18日(日) 開幕式

6月19日(月) 学术交流・観蓮会
6月20日(火) 西湖・観蓮会
6月21日(水) ↓ 広州・橋頭市
6月22日(木) 開幕式・観蓮会
6月23日(金) ↓ 深圳市・観蓮会・閉幕式 ↓ 広州
6月24日(土) 帰一國
費用などまだ未定ですが、参加ご希望の方は、事務局までお問合せ下さい。応募締切りは4月30日です。

会費納入のお願い

二〇〇六年度の会費納入よろしくお願ひします。
郵便振替用紙を同封しましたのでご使用下さい。
賛助会員 一〇,〇〇〇円 夫婦会員 八,〇〇〇円
一般会員 五,〇〇〇円
一年間会費未納の場合は、会則第16章付記4に則し「退会」とみなします。早めの納入お願ひいたします。

『死者の書』折口信夫著 (中公文庫)

第30回例会で岩波ホールにて観賞する、人形アニメーション映画「死者の書」は、折口信夫が昭和14年に発表した作品で、『中将姫物語』をモチーフにしています。物語は奈良・当麻寺に伝わる、藕絲織とされる当麻曼荼羅図伝説と、大津皇子の史実をモチーフに、奈良時代、藤原南家の娘の一途な信仰が、若くして非業の死をとげた大津皇子のさまよえる魂を鎮める物語である。監督・脚本は人形制作の第一人者、川本喜八郎。声の出演は宮沢りえ、榎木孝明、江守徹、黒柳徹子、岸田今日子など。上映時間70分。

『中将姫物語』

我国で藕絲織を有名にしたのは、奈良県・当麻寺蔵の奈良時代の制作とされる、国宝・綴織当麻曼荼羅図作成の由来を記した物語です。当麻曼荼羅の製作過程は、国宝『当麻曼荼羅縁起絵巻』(鎌倉・光明寺蔵)の詞書や『古今著門集』の説話によって、『中将姫物語』として流布して来た。物語の大意は、天平宝字七年横佩大臣の娘(中将姫)が、生身の阿弥陀如来を見奉らずば、寺を出ないと発願して当麻寺に入った。数日が過ぎると比丘尼が現われて、阿弥陀如来を拝み奉りたければ、百駄の蓮の茎を集めよ、と告げて去った。姫はこのことを公家に奏聞すると、たちまち百駄

の蓮の茎が集められた。するとまた比丘尼が現われて、蓮の茎を折って糸を紡ぎ、五色の藕絲に染めて去っていった。結願の日、また比丘尼が現われて、一夜のうちに五色の藕絲で、方一丈五尺の曼荼羅を織り上げた。娘が比丘尼の名前をたずねると、われこそは極楽浄土の阿弥陀如来で、織女は観音菩薩であるといつて、西方雲中へ去っていった。江戸時代『中将姫物語』は全国に流布し、藕絲織は寺院に奉納されている。

会員の紹介

『腹式呼吸の誤解を解く呼吸法』 田淵英三著

本書は長年に渡って気功、ヨーガ、アーユルヴェーダなどを研究し、自身で体験したことを基礎に書かれています。田淵英三 Mail: eichan-t@mte.biglobe.ne.jp



田淵英三
腹式呼吸の誤解を解く
呼吸法

A5版114頁
定価1,155円(税込)
問合せ・注文先 新生出版
電話 03-5282-8341
Fax 03-5282-8342

『内田又夫選集 巨椋池の蓮』 内田又夫著

蓮文化研究会の顧問であった、故内田又夫氏の長年に渡る巨椋池研究の書です。氏は巨椋池の蓮の発見に半生を注ぎ、発見した蓮を育成し、分根してきました。また、蓮文化の普及の為に多大なご尽力をされました。本書は著者畢生の研究書です。



内田又夫選集 巨椋池の蓮

A5版130頁(カラー紙面8頁)
定価2,100円(税込)
問合せ・注文先
三浦功大
電話・Fax 03-5995-2052